

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4171300132		
法人名	有限会社 共生の里		
事業所名	グループホーム 共生の里三日月道辺		
所在地	佐賀県小城市三日月町大字道辺880番地3 (電話) 0952-73-5128		
評価機関名	社団法人 佐賀県社会福祉士会		
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝1丁目1224番地2		
訪問調査日	平成 20年1月24日	評価確定日	平成 20年3月8日

【情報提供票より】(平成19年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 3 月 1 日		
ユニット数	ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11人	常勤	9人, 非常勤 2人, 常勤換算 6.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦葺平屋 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000~30,000円	その他の経費(月額)	7,500 円	
敷金	有() 円	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	210 円	昼食	270 円
	夕食	350 円	おやつ	食材料費に含む
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(平成19年12月1日現在)

利用者人数	9名	男性	5名	女性	4名	
要介護1	0名	要介護2	6名			
要介護3	3名	要介護4	0名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	78.6歳	最低	57歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	平松病院、中多久病院、ウッディデンタルクリニック
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

建物は民家改修型ということで、専用建造物には出せない落ち着きが感じられた。民家の特徴を残しながらも、現在の入居者に合わせた手すりや、滑り止めなどが設置されており、安全面にも配慮されている。周囲の環境にもうまく溶け込んでいる雰囲気であり、地域との関係もよく、普段の挨拶や野菜などの差し入れもあるとの事である。入居者は、そのようなのんびりとした環境の中、各個人が昔から過ごしてきた生活ペースで、本当にのんびりと、静かに暮らしておられるというイメージであった。その中でも各人ができる範囲で役割を持ち、スタッフと共生している面もあり、ただ介護されるだけの立場には置かれていない。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善課題をホーム内で検討し、外来者の手指消毒を行ったり、地元消防団の協力を仰ぐなど、具体的にケアの中に反映させている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価により自らの改善点を見出し、より良い環境作りに取り組み、前回の外部評価を活かし、消火訓練の実施や事故報告書の作成などにつなげられている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議には、地域包括支援センター、家族会、民生委員、地区住民代表、施設長、役職職員などが参加し、ホームの現状や今後の展望、日々の生活についての説明を行っている。浴室の段差解消に対する提案や、夜間火災時の対応についての質問、消防訓練についての情報交換などがなされている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	毎月利用者の現状を書面にて報告している。状態の変化があった時など、必要時には電話などで随時報告している。また、日ごろの意見要望などを受けたときは、管理者、施設長に報告され、その都度解決に結び付けられるようになっている。苦情の受付窓口は、管理者と定められており、重要事項説明書に明記されている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日ごろの散歩中などは、積極的に挨拶などをするよう心掛けている。地域の住民から、差し入れをいただくこともあり、良い関係が築けている。また、地域住民の方を対象にホームの見学会を開くなど、施設の理解を深めてもらうように努められている。また、火災時などの緊急時には協力してもらえる関係作りもできている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	各個人が、昔ながらの生活を送れるようにとの思いから、「昔ながらの生活をそのままに趣のあるたずまいのままその人のその人らしい生活を生き生きする」が、事業所独自の理念として掲げられている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を皆の目に付く玄関に掲示し、施設長、管理者が中心となり、日々スタッフに理念、方針を伝達することにより事業所全体で共有する事に努められている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩などで、外に出る際には積極的に挨拶を交わしたり、地区の清掃活動、行事や会合などにも出席し地域との交流に努めている。また、見学会を実施し、ホームを知ってもらうように努められている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価により自らの改善点を見出し、より良い環境作りに取り組み、前回の外部評価を活かし、消火訓練の実施や事故報告書の作成などにつなげられている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議にはホーム代表、家族、民生委員、地域包括支援センター、地区代表等の参加があり、ホームの現状及び展望、前回の要望改善についてなどを説明している。意見はその後の運営、サービス向上に反映するよう努められている。	○	開催日時の検討、行事とあわせて実施するなどの工夫により、実施頻度を、現在の約年2回から徐々に増やしていくことが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議、及び必要時に連絡を取り合い情報交換をし、サービスの向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1度、利用者の現状を書面にて送付している。また意見、要望の欄を設け、負担金を持ってきてもらう際に受け付けるようにしている。また、必要時には、電話連絡などにより随時報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常の会話などの中から汲み取った要望などは、その都度管理者、施設長に報告され改善につなげられている。また、意見、苦情、要望の受付窓口を管理者に定め、重要事項説明書にも明示されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職、異動があった際にはきちんとした理由の説明や、不安定になった利用者には、顔なじみのスタッフが寄り添うなど、混乱を抑えるようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理職など中心に研修に参加し、一般スタッフも年1回程度は参加している。また、伝達研修として内部研修も行い、外部研修参加者以外の向上にも努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の支援事業所や福祉施設と交流を持ったり、県のグループホーム協会に所属し会合などの参加によりネットワーク作りに努めている。	○	地域のグループホームとの交流を持ち、定期的な交流会を実施したり、スタッフの相互研修や入居者同士の交流につなげていく事が期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の事前準備として、スタッフが利用者に面会に行き顔なじみになったり、情報収集したりする事で徐々にサービス利用につなげられるよう体勢を整えている。また、家族からの情報も考慮し、本人のスムーズな入居につなげられるようになっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	洗濯物干し・取り込み、食器洗い等、入居者ができる範囲で役割をもたれており、日々の生活の中でスタッフと共に支えあう生活が送られている。また、漬物のつけ方など、入居者の知識も活かされている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人との日常の会話や行動から、また筆談などコミュニケーションの方法を工夫し、希望や要望を汲み取るように努められている。また、家族の要望も、面会時に聞き取り、サービスに反映させている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の意見を基に担当以外のスタッフの意見も朝礼時などに聞き、介護計画を作成している。また、面会時に家族の意見も聞くなどして計画に反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	実績表により達成度を算出し、3ヶ月ごとに計画の見直しを行っている。また、見直しの際にも、スタッフ全体で考え、家族の意向も面会時に汲み取るなどし、それを総合して計画を作成している。また、入居者の状況変化が生じた場合には随時見直している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況により、通院や美容室への外出など、ホームにて対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医の希望を聞き、本人や家族が希望される医療機関での受診を継続できるようにしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した入居者の家族とはかかりつけ医を交え、話し合いを設け方針を決定し全員で共有しているが、事前に話し合いをもつまでには至っていない。	○	重度化する以前から、終末期に対するホームの方針を整備される事が望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の尊重を第一とした声かけやケアが行われている。また、個人情報が含まれるファイルなどは、一箇所に集めて管理されており、プライバシーの保護に努められている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフは、あくまでも入居者のサポート役との考えに基づき、各個人の選択を尊重し、入浴、食事など入居者のペースに合わせた支援がなされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者のできる範囲で、配膳や食器洗いなど役割を持ってもらいスタッフも一緒に食事を摂っている。準備時間などは、入居者とのコミュニケーションの場にもなっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日午前10時～午後7時頃までは常に浴槽の湯を張り、入居者の希望に合わせて随時入浴できるようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常の中で、洗濯の手伝いや掃除、畑の管理など、それまで培ってきた知識や能力を活かして役割を持ってもらい、生活に張りをもってもらおうよう支援している。また、ドライブ、散歩、音楽、テレビ鑑賞など楽しみ、気晴らしの活動をできる範囲内で行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者一人につき、ちょっとした遠出のドライブ等を月に1度、近所の散歩等を週に1～2度ほど行っている。また、その日の状況に応じて、できるだけ入居者の希望に添えるよう外出支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	いつでも出入りできるように鍵を開けていることを基本的考えとしつつも、午前中の食事準備時間など、スタッフが忙しい時間で入居者が不安定になられる時など、家族の了承を得ながら、鍵をかけられている。	○	あくまでも安全に対する配慮を第一義とし、見守り体制の工夫で、できる限り鍵をかけないケアに積極的に取り組まれる事が望まれる。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	夜間想定での避難訓練が行われている。また、火災時の対応マニュアルの整備や、緊急時に協力を得られるような地域との協力体制も日ごろの関係作りから確立されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の希望も取り入れながら献立が決められており、栄養バランスには配慮されている。また、水分摂取についても、水やお茶だけでなく、好みによっては果物やコーヒーなどを提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一般住宅の改修型である利点を活かし、入居者が馴染みやすい雰囲気が保たれ、3箇所あるトイレの1箇所は車椅子対応の配慮もされている。また、共用スペースのリビング、玄関フロア、縁側などに共用のソファなどが設置され、居心地の良い空間作りに努められている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や家庭用品を持ち込んでもらい、安心した生活が送れるように配慮されている。持ち込み制限などは無く、本人の動きや希望にあわせた部屋作りがなされている。		